

経営比較分析表（令和4年度決算）

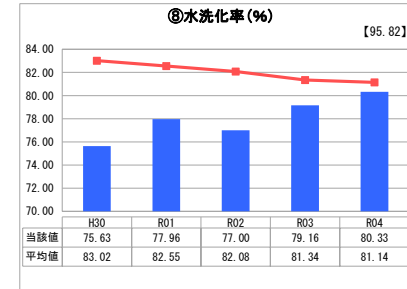
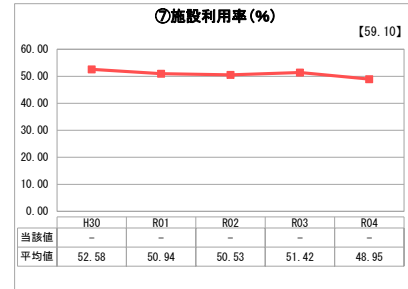
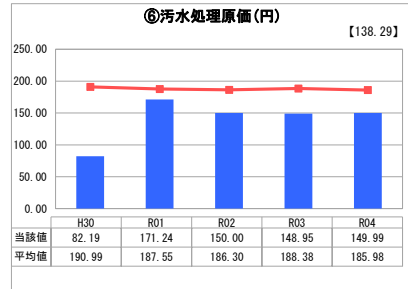
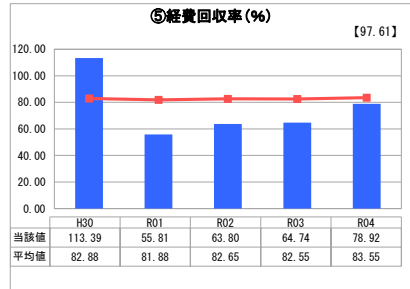
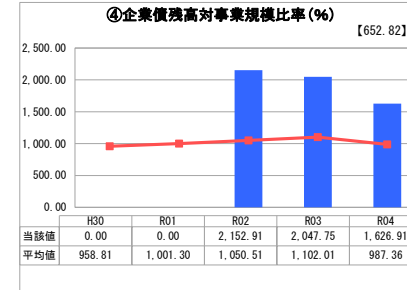
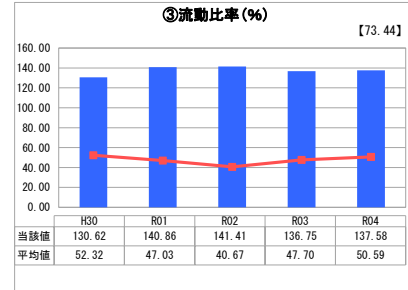
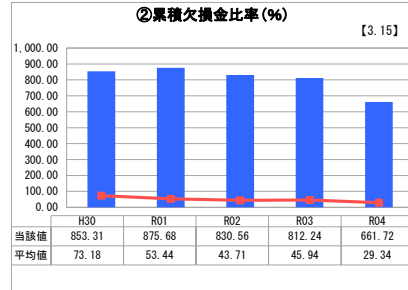
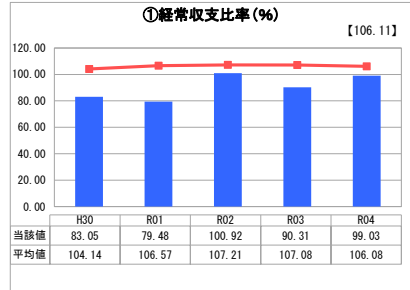
三重県 玉城町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	55.47	89.42	96.12	2,049

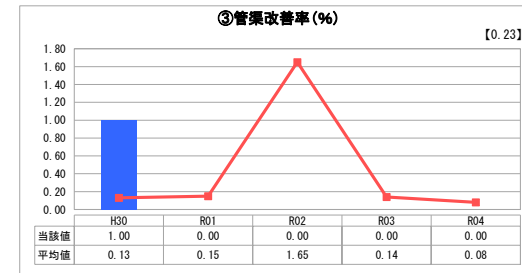
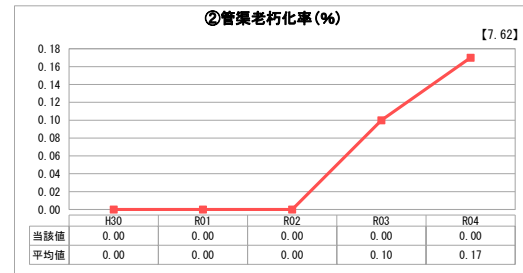
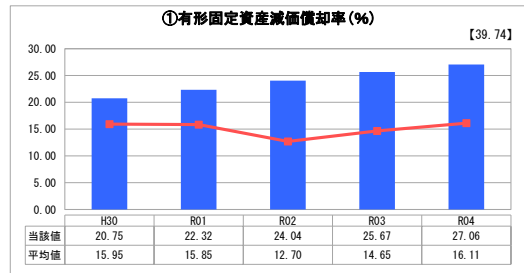
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,162	40.91	370.62
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,510	3.92	3,446.43

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率：前年度より8.7%増加となりました。要因は令和4年度下水道使用料改定による増となります。

② 累積欠損金比率：欠損金を発生させない経営をしていますが、累積欠損金がなくなるまでの健全性には至っていません。

③ 流動比率：0.8%増加しましたが、今後更なる償還金の増加を予定しています。

④ 企業債残高対事業規模比率：前年度同様高い比率となっています。将来的な企業債償還に係る使用料収入の確保が必要と考えます。

⑤ 経費回収率：前年度より14.2%増加しましたが、類似団体に比べ下回っています。

⑥ 汚水処理原価：令和2年度より流域下水道維持管理負担金が増加したため、年間有収水量が年度間で変動が生じておらず、一定推移となりました。

⑧ 水洗化率：前年度と比べ1.2%上回りましたが、年間有収水量は伸びませんでした。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率：平成9年度から整備を始めたため、下水道管渠について法定耐用年数は経過していません。

② 管渠老朽化率：法定耐用年数を経過していないため0%です。

③ 管渠改善率：更新・改良等は法定耐用年数及び老朽度合により計画しています。法定耐用年数が管渠より短く常時稼働しているポンプ修繕を計画・実施しています。

全体総括

下水道使用料改定により公費負担を抑制しましたが、維持管理費を賄えるまでには至りませんでした。今後も適正な維持管理に努め、水洗化率向上を図り使用料収入の確保と処理費用の削減に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。